

空き店舗を活用して病後児保育施設を開設
商店街の知名度とイメージの向上に寄与、賑わいを創出

にこにこ星ふちのべ協同組合

機関名	にこにこ星ふちのべ協同組合		
所在地	神奈川県相模原市淵野辺 3-7-20 藤原ビル1階		
電話番号	042-755-2525		
地域概要	(1)管内人口 53千人	(2)管内商店街数 9商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 79商店	
	(3)空き店舗率 3.2%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（保育サービス施設）
・病後児保育施設の設置・運営
総事業費 32,314 千円

【事業実施内容】

1. 背景

相模原市は神奈川県北部に位置し、東京都心まで 40 キロメートル、横浜まで 30 キロメートルの距離にある。昭和 29 年の市制施行時の人口は 8 万人であったが、人口の増加が続き現在では 60 万人を超えている。

相模原市の小売店舗数は神奈川県内で第 4 位、年間販売額は横浜市、川崎市に次いで第 3 位であり、4,300 店余りの小売店が市内各所で商店街を形成している。

相模原市では、市民のニーズに対応できる多様で個性的な商業地の形成のため、橋本・相模原・相模大野各駅周辺地区を中心商業地に、淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵各駅周辺の地区を地区中心商業地に位置付けている。各地区で行政・商業者・住民が協力し合いながらまちづくりと一体となった商業振興への取り組みが進められている。

淵野辺駅周辺の商業環境は、近接する古淵地区に大型商業施設の集積が進み、至近の国道 16 号線沿いにロードサイド店舗が増加するなど、急激に変化している。これらの環境に対応できない商店の中には廃業・閉店を余儀なくされる店舗もあることから商店街に空き店舗が点在する状況になっており、その解消が喫緊の課題となっている。

一方、相模原市が行った実態調査の結果から、就労中の保護者の約 18% が病後児保育の



相模原市の位置（相模原市役所 HP より）

にこにこ星ふちのべ協同組合

利用意向を持つという病後児保育施設へのニーズがあることがわかった。

このような状況下、空き店舗を活用して病後児保育施設を設置し、商店街の活性化と地域の子育て支援という2つの要素を満たすことを目的に本事業の取り組みを行った。

2. 事業内容

商店街活性化の一環として、空き店舗の有効活用を検討していたにこにこ星ふちのべ協同組合と社会福祉法人さがみ愛育会が連携し、商店街にある空き店舗を借り受けて屋内改装を行い、病後児保育施設を開設・運営した。

(1) 病後児保育施設事業の概要

①施設名

淵野辺保育園病後児保育センター
『ぼっかぼか』

②所在地

相模原市淵野辺 3-7-20
J R 淵野辺駅北口から徒歩 5 分

③施設概要

面積は約 126 m²。保育室の他、安静室やミルクを作るための調乳室などを設けた。また、感染症対策として室内の圧力を減圧する換気扇を設置した。

④定員

8 名

⑤保育時間

月曜から土曜の午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分

日曜・祝日及び年末年始は休み

⑥運営体制

さがみ愛育会が運営する淵野辺保育園の副園長と保育士 2 名、看護師 1 名の計 4 人が常勤している。

⑦利用料金

保育料：日額 2,000 円

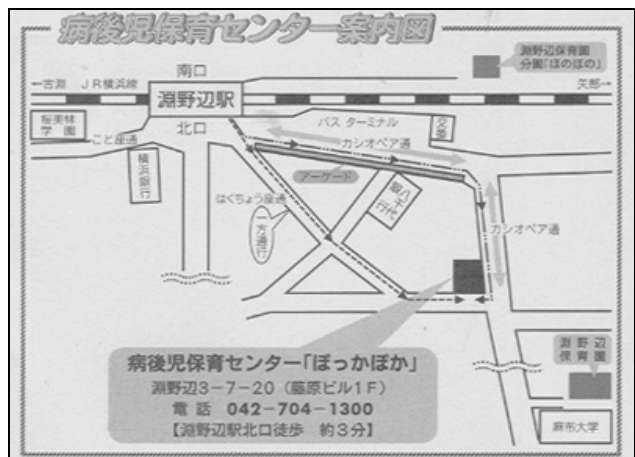
給食費：日額 350 円

利用連絡票発行手数料：1,600 円

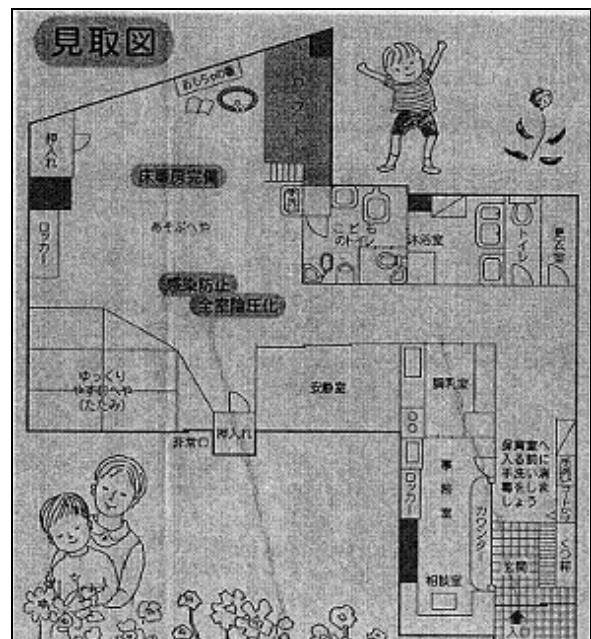
(市在住の方は 700 円助成)

⑧対象児童

原則として、市内に居住して保育所に通い、または市外から市内保育園に通う月齢



『ぼっかぼか』の位置



『ぼっかぼか』見取り図

6 ヶ月から就学前の児童で、病気回復期にあつてかかりつけ医から利用連絡票が発行された児童が対象。



『ぽっかぽか』内部

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

病後児保育施設を誘致したことでコミュニティを重視する商店街の姿勢が評価され、その後、NPO団体等によるリサイクルショップが空き店舗に入居するなどイメージアップにつながっている。

2. 他の団体との連携

淵野辺地区における待機児童の問題と商店が抱える課題をともに効果的に解決していこうという気運が盛り上がってきた。その結果、淵野辺周辺の大学や学生と商店街がこれら地域の課題を共同で考える研究会が発足した。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・PR

病後児施設という特殊性がある上に施設利用者の多くが事業運営を行っている社会福祉法人さがみ愛育会系列の保育園に通園している子どもであるため、施設が存在が直接商店街の活性化につながっているわけではない。そのため、今後は利用者を増やすためのPR活動を積極的に行って直接的・間接的に商店街を活性化できるような運営を目指していくことが大切であると考えている。

【 関 連 U R L 】

にこにこ星ふちのべ協同組合
社会福祉法人さがみ愛育会

<http://www.2525f.jp/>

<http://www.aiikukai.or.jp/>